

施策	1203 河川環境の整備・管理						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	水辺環境の整備、河川の美化活動、水質の浄化等を進める。						
成果指標	清掃作業参加人数 5年後(H25～H29)の参加人数16,250人(現状値15,180人)						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [人]	予定	15,200.00	15,450.00	15,700.00	16,000.00	16,250.00
		実績	15,488.00	15,875.00	15,795.00	16,068.00	
	成果指標2 []	予定					
		実績					
	成果指標3 []	単位コスト					
		予定					
	成果指標4 []	実績					
		単位コスト					
	トータルコスト (千円)	予定	72,432	40,744	43,013	26,417	
実績		95,113	42,577	39,711	26,665		
内部評価	貢献度	基本施策の目標値達成には、市民への普及啓発及び支援活動や河川環境の整備・維持管理を適正に行うことが必要であるため、本単位施策の目標達成による貢献度は高い。					
	達成状況	普及啓発及び支援活動や河川環境の整備・維持管理を適正かつ効果的に行い、平成28年度の目標値を達成している。事業・施策とも概ね良好の進捗である。					
	課題	自治会や愛護団体だけでなく関係する団体等へ連携の拡充や、幅広い層への普及啓発を行うことが必要であり、継続して水路等の適正な管理や市民等の清掃活動への支援も必要。					
	取組方針	自治会や愛護団体への厚い支援を行うとともに、河川環境の向上の啓発活動を行い、併せて水路等の適正な維持管理に努め、来年度以降も目標達成に向けて進めたい。					
外部評価	全国的に河川の氾濫が多くなってきているため、早急に土砂撤去などの河川整備をして欲しい。また、整備の際は、市民の憩いの場やレクリエーションの場として整備することで市民への環境美化の啓発も検討すべきである。さらに、子どもたちの河川環境に対する意識向上のため、美化運動を含めた様々な体験学習の企画や、自治会、企業等を巻き込んだ環境イベントの実施を検討すべきである。						
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名称				トータルコスト(千円)	達成度
	152501	水質調査事業費				4,208	100
	152502	水質調査事業費(大平)				836	100
	152503	水質調査事業費(藤岡)				4,400	100
	426501	河川・水路清掃事業費				11,850	100
	426301	河川浄化施設管理費				2,348	70
	152504	水質調査事業費(都賀)				0	1
	426101	河川総務事務費				3,023	1
	421201	永野川桜つつみモデル整備事業費				0	0

平成28年度

単位 施策評価表 補表

施策	1203 河川環境の整備・管理		
区分	妥当性	妥当	上位施策の目的を達成するために有効である。
	コスト削減の余地	有	総務事務費等経費縮減可能と思われる事業もある。
	受益者負担	適正	負担割合は適正である。
	上位貢献度	有効	単位施策の目標達成度による貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	代替え事業等はない。
	成果向上の余地	有	水辺環境の整備や河川の美化活動、また、水質の浄化等を進めることで河川環境の保全が図れる。
内部評価	貢献度		
	達成状況		
	課題		
	取組方針		